

[別冊]

令和9・10年度入札参加資格申請における
「法面施工に用いる施工機械に関する書類」
について

島根県土木部
土木総務課建設産業対策室

令和8年10月

目 次

①種子吹付機	1
②モルタル・植生基材吹付機	8
③鉄筋挿入工削孔機	20
④グラウンドアンカー削孔機	27
〔参考〕機械写真に新聞を入れるイメージ、固定資産台帳サンプル	34

① 種子吹付機

種子吹付機の保有について、以下の書類を提出すること。

1. 提出書類

- A. 保有機械明細表（法様式 1－①）
- B. 法様式 1－①の添付書類
- C. 機械写真（法様式 2－①）
- D. 提出資料事前チェックリスト（法様式 3－①）

2. 記入方法

A. 保有機械明細表（法様式 1－①）について

種子吹付機の自社保有機械について、必要事項を記入すること。

なお、複数を自社保有し申請する場合は 5 台を上限とする。

※リース機械について

- ・他社から借りている機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものに限り自社保有とみなす。
- ・他社へ貸し出している機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものは自社保有とみなさない。

B. 法様式 1－①の添付書類

機械を保有していることを証明する書類として、以下の書類を添付すること。

なお、様式の「添付書類」欄には、添付する書類を全て記入すること。

法様式 1－①の添付書類 一覧

添付書類	内 容
(1) 固定資産台帳の写し※ 1	「固定資産台帳」とは以下の書類とする。 ○令和 9・10 度入札参加資格申請日（以下「申請日」という。）と同年度の、市町村役場が交付する資産証明で以下ア)、イ)、ウ)全て（サンプル参照） ア)償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）の該当機械が記載されているページの写し イ) 償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）で、償却の課税評価額の合計額が記載されているページの写し（明細書で合計額が記載されているページが無い場合は、明細書全ページを提出し最終ページ末尾に合計額を記載すること） ウ)名寄帳兼課税台帳等で「償却」の課税評価額の合計額が記載されているページの写し ※該当機械の記載欄を太枠で囲い、申請する機械との関連が分かるように機械名と「保有機械明細表（法様式 1－①）」記載の整理番号を記載し明示すること。（サンプル参照） ※「該当機械の資産の名称」、「償却資産の課税評価額の合計額」は表示すること。その他の情報については黒塗しても構わない。（サンプル参照）
(2) 貸借契約書の写し	リースによる自社保有の場合。
(3) 貸出元の固定資産台帳の写し※ 1	(2) の場合。 「(1) 固定資産台帳の写し」同様に貸出元の書類を提出すること。 ※オペレーティング・リース契約及び所有権移転外ファイナンス・リース契約が該当。所有権移転ファイナンス・リース契約は借主側の申告となるため、上記 (1) に該当する。

※ 1

①償却資産の賦課期日（令和 8 年 1 月 1 日）より後に新規購入したもの

②取得価格が「20 万円未満」にため税務会計上 3 年間で一括償却したもの

により固定資産台帳に償却資産としての記載がない場合は、売買契約書の写しを提出すること。

C. 機械写真（法様式 2－①）

保有機械明細表（法様式 1－①）に記入した機械について、以下のとおり作成すること。

1. 法様式 1－①に記入した「機械名」、「製造番号」を記入すること。
2. 「機械の撮影日（入札参加資格申請期間内の日付であること）」、「機械の撮影場所」、「機械の保管場所」、「機械の保管場所の所在地」を記入すること。
3. 機械の写真について

写真の撮影方法は以下のとおり。

別添「サンプル写真」を参考のうえ作成すること。

<写真の撮影方法>

①全景写真	機械の全体が分かるもので、銘板、製造番号等が含まれているもの（撮影日の新聞の第1面を入れて撮影）。
②部分写真	①全景写真及び③アップ写真を関連づける部分写真（①で撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度が必要）。
③アップ写真	銘板、製造番号等の表示内容が分かるアップ写真。 ※銘板等の表示内容が分かる鮮明な写真を提出すること。

※撮影の留意点

①全景写真、②部分写真、③アップ写真は、同一機械の写真であることが判別できるように、全て同一方向から撮影すること。①及び②は撮影日の新聞の第1面を入れて撮影し、②は撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度とすること。

4. 用紙1枚で不足する場合は、続けて2枚目に記入しページ毎に番号（No. ）を記入すること。

5. 機械写真（法様式2－①）については、上記記入内容を満たしていれば任意様式での提出も可とする。

D. チェックリスト（法様式3－①）

記載誤り、書類の提出漏れ等がないか必ずチェックし、法様式3－①についても提出すること。

保有機械明細表

機械名	規格	自社 or リース	メーカー	型式	製造番号	添付書類
【記載例】 種子吹付機	2.0m3	自社	〇〇〇〇	〇〇－〇〇	〇〇〇〇	・固定資産台帳(写し)

機 械 写 真

機械名	
製造番号	
機械の撮影日	
機械の撮影場所	
機械保管場所	
機械保管場所の所在地	

①全景写真

(機械の全体が分かるもので、銘板、
製造番号等が含まれているもの。)
※撮影日の新聞の第1面を入れて撮影

②部分写真

(①全景写真と③アップ写真を
関連づける部分写真。)
※①で撮影した新聞が判読できる
大きさ、解像度が必要

③アップ写真

(銘板、製造番号等の
表示内容が分かるアップ写真)

種子吹付機 サンプル写真

法様式2-①(参考様式)

(No.)

機 械 写 真

機械名	種子吹付機
製造番号	〇〇〇〇
機械の撮影日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
機械の撮影場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地

入札参加資格申請期間内の日付であること

製造番号等が含まれている全景



全景写真とアップ写真を関連づける部分写真



製造番号等の表示内容が分かるアップ写真



新聞の撮影面の例



提出資料事前チェックリスト

資料	チェック事項	チェック欄
法様式1-① (保有機械明細表)	・記載事項の記入漏れはありませんか？ ・「添付書類」欄に全ての添付書類名を記入しましたか？ ・リースによる自社保有の場合、契約期間は1年7ヶ月以上のものですか？	☐ ☐ ☐
法様式1-①添付書類	・固定資産台帳の写しにおいて、以下の書類の写し全てを添付しましたか？ ・償却資産の明細書類の該当機械が記載されているページ ・償却資産の明細書類の償却の課税評価額の合計額が記載されているページ ※合計欄がない場合は全ページ必要 ・名寄兼課税台帳等で償却の評価額の合計額が記載されている書類 ・固定資産台帳の写しの年度に誤りはありませんか？ ・固定資産台帳の写しにおいて、該当機械の箇所を太枠で囲うなど該当機械が分かるように明示されていますか？ ・リースの場合、リース契約書の写しは添付しましたか？ ・リースの場合、貸し出し元の固定資産台帳等の写しは添付しましたか？ ・償却資産の賦課期日(1月1日)より後に新規購入し、固定資産台帳に記載のない場合、売買契約書の写しを添付しましたか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
法様式2-① (機械写真)	・法様式1-①で記入した「機械名」、「製造番号」と一致していますか？ ・写真は全景・部分・アップ写真全てありますか？ ・全景・部分・アップ写真は全て同一方向から撮影しましたか？ ・全景写真の場合、機械の全景写真中に銘板・製造番号等が写っていますか？ ・アップ写真の場合、銘板、製造番号等の表示内容が確認できますか？ ・全景・部分写真に撮影日の新聞を入れて撮影しましたか？ ・撮影日は入札参加資格申請期間内の日付ですか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

②モルタル・植生基材吹付機

モルタル・植生基材吹付機の保有について、以下の書類を提出すること。

1. 提出書類

- A. 保有機械明細表（法様式1－②）
- B. 法様式1－②の添付書類
- C. 機械写真（法様式2－②）
- D. 提出資料事前チェックリスト（法様式3－②）

2. 記入方法

A. 保有機械明細表（法様式1－②）について

モルタル・植生基材吹付機の自社保有機械について、必要事項を記入すること。

・機械名欄には、「吹付機」のみを記入すること。（ホッパー、計量器、発電機、コンプレッサ一等の記入は不要。）

・「吹付機」については、刻印番号を必ず記入すること。

なお、複数を自社保有し申請する場合は5台を上限とする。

※リース機械について

・他社から借りている機械は、その契約期間が1年7ヶ月以上のものに限り自社保有とみなす。

・他社へ貸し出している機械は、その契約期間が1年7ヶ月以上のものは自社保有とみなさない。

B. 法様式1－②の添付書類

機械を保有していることを証明する書類として、以下の書類を添付すること。

なお、様式の「添付書類」欄には、添付する書類を全て記入すること。

法様式 1－②の添付書類 一覧

添付書類	内 容
(1) 固定資産台帳の写し※1	「固定資産台帳」とは以下の書類とする。 ○申請日と同年度の、市町村役場が交付する資産証明で以下ア)、イ)、ウ)全て（サンプル参照） ア)償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）の該当機械が記載されているページの写し イ) 償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）で、償却の課税評価額の合計額が記載されているページの写し（明細書で合計額が記載されているページが無い場合は、明細書全ページを提出し最終ページ末尾に合計額を記載すること） ウ)名寄帳兼課税台帳等で「償却」の課税評価額の合計額が記載されているページの写し ※該当機械の記載欄を太枠で囲い、申請する機械との関連が分かるように機械名と「保有機械明細表（法様式 1－②）」記載の整理番号を記載し明示すること。（サンプル参照） ※「該当機械の資産の名称」、「償却資産の課税評価額の合計額」は表示すること。その他の情報については黒塗しても構わない。（サンプル参照）
(2) 貸借契約書の写し	リースによる自社保有の場合。
(3) 貸出元の固定資産台帳の写し※1	(2) の場合。 「(1) 固定資産台帳の写し」同様に貸出元の書類を提出すること。 ※オペレーティング・リース契約及び所有権移転外ファイナンス・リース契約が該当。所有権移転ファイナンス・リース契約は借主側の申告となるため、上記(1)に該当する。
(4) 定期自主検査の記録の写し	「ボイラー及び圧力容器安全規則第 88 条」に規定する定期自主検査を指し、過去 3 年分（購入又は貸借契約後、3 年が経過していないものは、購入又は貸借契約以降）の記録書類の写し。 なお、定期自主検査は別に定める点検整備表（法様式 1－②一点検）によるものとする。
(5) 第二種圧力容器明細書の写し	「機械等検定規則第 4 条」により個別検定に合格した機械に交付されている「第二種圧力容器明細書」の写し。 ※C.「3. 機械の写真について ③アップ写真」に写す刻印番号と「第二種圧力容器明細書」の個別検定合格済の番号は一致していること。

※1

①償却資産の賦課期日（令和 8 年 1 月 1 日）より後に新規購入したもの

②取得価格が「20 万円未満」にため税務会計上 3 年間で一括償却したもの

により固定資産台帳に償却資産としての記載がない場合は、売買契約書の写しを提出すること。

C. 機械写真（法様式2－②）

保有機械明細表（法様式1－②）に記入した機械について、以下のとおり作成すること。

1. 法様式1－②に記入した「機械名」、「製造番号」を記入すること。
2. 「機械の撮影日（入札参加資格申請期間内の日付であること）」、「機械の撮影場所」、「機械の保管場所」、「機械の保管場所の所在地」を記入すること。
3. 機械の写真について

写真の撮影方法は以下の表のとおり。

別添「サンプル写真」を参考のうえ作成すること。

＜写真の撮影方法＞

①全景写真	機械の全体が分かるもので、銘板※ ¹ 及び刻印※ ² が含まれているもの（撮影日の新聞の第1面を入れて撮影）。
②部分写真	①全景写真及び③アップ写真を関連づける部分写真（①で撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度が必要）。
③アップ写真	銘板及び刻印それぞれの表示内容が分かるアップ写真。 ※保有の判断を行うために非常に重要な写真である。銘板及び刻印の表示内容が分かる鮮明な写真を提出すること。

※1：モルタル・植生基材吹付機の刻印は、「機械等検定規則第5条第2項」で規定されており、機械の上部及び下部の2箇所に設置されているが、いずれか1箇所の写真を提出すること。

※2：モルタル・植生基材吹付機の銘板は、「第二種圧力容器構造規格第72条」で規定されている。

※撮影の留意点

①全景写真、②部分写真、③アップ写真は、同一機械の写真であることが判別できるように、全て同一方向から撮影すること。①及び②は撮影日の新聞の第1面を入れて撮影し、②は撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度とすること。

4. 用紙1枚で不足する場合は、続けて2枚目に記入しページ毎に番号（No. ）を記入すること。

5. 機械写真（法様式2－②）については、上記記入内容を満たしていれば任意様式での提出も可とする。

6. 第二種圧力容器関連法令について

モルタル・植生基材吹付機は、「労働安全衛生法施行令第1条第7号」に定義される「第二種圧力容器」に該当する。

第二種圧力容器は、安全確保及び労働災害を防止するために、製造、設置、使用等について労働安全衛生法等法令により規定されている。（別紙「第二種圧力容器 関係法令（一部抜粋）」参照。）なお、第二種圧力容器の「刻印」、「銘板」、「定期自主検査」の関連法令は以下のとおり。

<参考：第二種圧力容器_「銘板」、「刻印」、「定期自主検査」関連法令>

- 銘板：「労働安全衛生法第 42 条」、「労働安全衛生規則第 27 条」、「圧力容器構造規格第 72 条」
- 刻印：「労働安全衛生法第 44 条第 1、4、6 項」、「労働安全衛生法施行令第 14 条 2 項」、「ボイラー及び圧力容器安全規則第 84 条第 1、3 項」、「機械等検定規則第 1、4、5 条」
- 定期自主検査：「労働安全衛生法第 45 条第 1 項」、「労働安全衛生法施工令第 15 条」、「ボイラー及び圧力容器安全規則第 88 条」

よって、上記「3. 機械の写真について ③アップ写真」の銘板及び刻印の表示内容の確認において「保有」として認めるか否かの判断基準は、下表のとおりとする。

※銘板及び刻印の表示状態による対応表

表示状態	「保有」として認めるか否か（認める：○、認められない：×）	
	刻 印	銘 板
記載内容が全て読み取れる	○	○
記載内容の一部が読み取れない （数字、文字の一部等）	●読み取れない部分について、「機械等検定規則第 4 条」に規定される個別検定合格を証する書類（第二種圧力容器明細書）の写し（サンプル参照）と照合が取れた場合→○ ●照合がとれない場合→×	○
記載内容の大半が読み取れない。	×	●読み取れない部分について、「機械等検定規則第 4 条」に規定される個別検定合格を証する書類（第二種圧力容器明細書）の写し（サンプル参照）と照合が取れた場合→○ ●照合がとれない場合→×

D. チェックリスト（法様式 3－②）

記載誤り、書類の提出漏れ等がないか必ずチェックし、法様式 3－②についても提出すること。

保有機械明細表

機械名	規格	自社 or リース	メーカー	型式	製造番号	刻印番号	添付書類
【記載例】 吹付機	湿式0.8～ 1.2m ³ /h	自社	〇〇〇〇	〇〇－〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	・固定資産台帳(写し) ・定期自主検査記録 表(写し)

機 械 写 真

機械名	
製造番号	
機械の撮影日	
機械の撮影場所	
機械保管場所	
機械保管場所の所在地	

①全景写真

(機械の全体が分かるもので、刻印、
銘板が含まれているもの。)
※撮影日の新聞の第1面を入れて撮影

②部分写真

(①全景写真と③アップ写真を
関連づける部分写真。)※
①で撮影した新聞が判読できる
大きさ、解像度が必要

③アップ写真

(刻印、銘板それぞれの
表示内容が分かるアップ写真)

機 械 写 真

機械名	モルタル・植生基材吹付機
製造番号	〇〇〇〇
機械の撮影日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
機械の撮影場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地

入札参加資格申請期
間内の日付であるこ
と

刻印が含まれて
いる全景写真



刻印

撮影日の新聞
を入れて撮影

新聞の撮影面の例



全景写真とアップ
写真を関連づけ
る部分写真



撮影日の新聞
を入れて撮影



刻印の表示内容
が分かるアップ

銘板が含まれて
いる全景写真



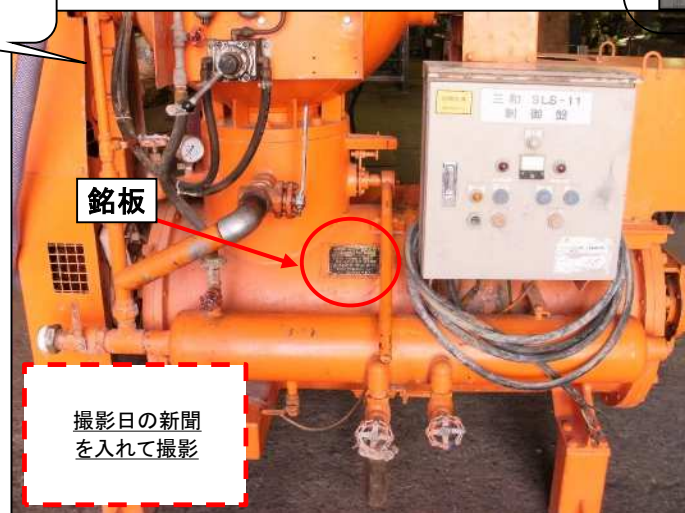
銘板

撮影日の新聞
を入れて撮影

新聞の撮影面の例



全景写真とアップ
写真を関連づける
部分写真



銘板

撮影日の新聞
を入れて撮影

銘板の表示内容
が分かるアップ
写真



提出資料事前チェックリスト

資料	チェック事項	チェック欄
法様式1-② (保有機械明細表)	・記載事項の記入漏れはありませんか？ ・「添付書類」欄に全ての添付書類名を記入しましたか？ ・リースによる自社保有の場合、リース契約期間は1年7ヶ月以上のものですか？	☐ ☐ ☐
法様式1-②添付書類	・固定資産台帳の写しにおいて、以下の書類の写し全てを添付しましたか？ ・償却資産の明細書類の該当機械が記載されているページ ・償却資産の明細書類の償却の課税評価額の合計額が記載されているページ ※合計欄がない場合は全ページ必要 ・名寄兼課税台帳等で償却の評価額の合計額が記載されている書類 ・固定資産台帳の写しの年度に誤りはありませんか？ ・固定資産台帳の写しにおいて、該当機械の箇所を太枠で囲うなど該当機械が分かるように明示されていますか？ ・リースの場合、リース契約書の写しは添付しましたか？ ・リースの場合、貸し出し元の固定資産台帳等の写しは添付しましたか？ ・償却資産の賦課期日(1月1日)より後に新規購入し、固定資産台帳に記載のない場合、売買契約書の写しを添付しましたか？ ・定期自主検査の記録書類の写しは過去3年分揃っていますか？ (購入(又はリース契約後)3年を経過していないものは購入時(リース契約時)以降の年数分)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
法様式2-② (機械写真)	・法様式1-②で記入した「機械名」、「製造番号」と一致していますか？ ・写真は全景・部分・アップ写真全てありますか？ ・全景・部分・アップ写真は全て同一方向から撮影しましたか？ ・全景写真の場合、機械の全景写真中に刻印、銘板が写っていますか？ ・アップ写真の場合、刻印、銘板それぞれの表示内容が写真上から確認できますか？ ・全景・部分写真に撮影日の新聞を入れて撮影しましたか？ ・撮影日は入札参加資格申請期間内の日付ですか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

モルタル・植生基材吹付機 点検整備表

型式

点検日

年

月

日

製造番号

個別検定合格番号

使用時間

時間

点検者
氏名

※点検日、点検者氏名、型式、製造番号、個別検定合格番号、使用時間(前回点検日以降の使用時間)を必ず記載する。

箇所	番号	点検項目	作業内容	備考
本体	1	本体の損傷の有無		
	2	ライナーの摩耗・羽根ゴムとの隙間		
	3	羽根ゴム・押え板の摩耗		
	4	羽根の摩耗・損傷(羽根板・軸ボス等)		
	5	羽根軸の摩耗・損傷(シールパッキン面・キー溝等)		
	6	羽根軸シール部パッキンの摩耗・給油脂状態		
	7	羽根軸部ベアリングのガタ・給油脂状態		
	8	羽根ボルトの緩み・グランドケース・ベアリングケースの緩み		
	9	ガン体内部のモルタル等の付着		
	10	フランジ部のボルトの緩み		
	11	ふたの締付けボルトの摩耗の有無		
スライド	12	スライドオーリングの摩耗・隙間/バルブ表面の清掃		
	13	スライドシャフトの摩耗・損傷(シールパッキン面・キー溝等)		
	14	スライドシャフトシール部パッキンの摩耗・給油脂状態		
	15	スライドハンドルの取付け具合・ボルトの緩み		
エア配管	16	排気コックの状態・詰り・漏れ・作動状態		
	17	消音機の状態・詰り・破損		
	18	管及び弁の破損の有無		
	19	各部のエア漏れ(上下タンク・軸部・スライド部・点検口)		
	20	エア操作盤の緩み・ガタ		
	21	ルブユニットの水抜き		
	22	ルブユニットのオイル量(タービン油)		
	23	エアシリンダーの操作具合・エア漏れ		
	24	エアホースの亀裂・損傷・取付け具合		
制御盤	25	制御盤内の配線の緩み・損傷		
	26	各部品の取付け状態(タイマー・サーマルの設定値の確認)		
	27	各スイッチの操作状態(モーター・水中ポンプ・検知器)		
	28	電磁接触器の接点の状態		
	29	安全装置の作動状態		
	30	キャブタイヤケーブルの接続状態・損傷の有無		

箇所	番号	点検項目	作業内容	備考
減速器・原動機	31	チェーンの張り・伸び・給油脂状態		
	32	スプロケットの摩耗・ボルトの緩み		
	33	減速器及びモーターのオイル量・汚れ・漏れ		
	34	エンジンオイルの量・汚れ・漏れ		
	35	オイルフィルターの詰り		
	36	エアークリーナーの汚れ・詰り		
	37	燃料フィルター・フィードポンプストレーナーの詰り		
	38	ファンベルト張り・損傷の有無		
	39	バッテリーの液量・ターミナルの汚れ		
	40	バッテリーの充電状態		
	41	スロットルワイヤー等の動き		
	42	排気の状態		
	43	燃料・オイルの漏れ・しみ		
	44	モーターの異音・異臭		
	45	モーター結線部の損傷の有無・取付け状態		
その他	46	タイヤの空気圧・亀裂・損傷(7kg/cm ²)		
	47	車軸ベアリングのガタ・給油脂状態		
	48	舵取り装置の作動		
	49	フレームの緩み・損傷の有無		
	50	シャシ各部の給油脂状態		
メカニカル	51	圧接フランジとシールカラーの接合面の摩耗、損傷の点検		
	52	スプリングのへたり、全長の点検		
	53	スリーブの摩耗の点検		
	54	ダストシール、ロッドパッキン、Ｏリング等の摩耗、給油状態の確認		
	55	各部グリス路の詰まり、安全弁の作動状態の点検		

※交換部品があった場合備考欄に記載すること。

該当なし	交換	×	締付	T
点検	修理	△	清掃	C
分解	調整	A	給油	L

第二種圧力容器明細書

サンプル

個別検定申請者の氏名及び住所					個別検定合格の印		
製造者の氏名及び住所							
種類	モルタル圧送缶(SLS-15)						
型式の名称	上部：立型円筒 上部：横型円筒						
最高使用圧力	上部：0.883 MPa 下部：						
内容積	上部：0.452 m ³ 下部：0.532 m ³						
製造年月日	平成 20 年 10 月						
胴	材 料	最大内径		長 さ	板の厚さ		
	上部：SS400	850		265	9.0		
	下部：SS400	650 mm		1444 mm	9.0 mm		
鏡板 及び 平蓋板	材 料	形 状		すみの丸みの内半径	板の厚さ		
	上部：SS400/SS400	皿形/全半球形		85.0/-	6.0/9.0		
	下部：SM490A	平 形		- mm	32.0 mm		
胴の長手継手の種類及び効率		突合せ両側溶接 $\eta = 0.595$					
マンホール 掃除穴又は 検査穴	種 類	大きさ mm	安全弁又は これに代わ る安全装置	種 類	型 式	弁径 mm	
	蓋板開閉	$\phi 850$		圧力源の最高使用圧力が、0.883MPa以下			
	蓋板開閉	$\phi 650 \times 2$		の為、第64条第1項のただし書きにより			
	掃除穴/検査穴	$\phi 300 / \phi 200$		安全弁を省略する。			
※個別検定実施の場所	製 造 所 内		※個別検定年月日	平成20年10月10日			
※水圧試験圧力	1.33 MPa		※個別検定者氏名印				
参 考 事 項							

備考

- ※印を付してある欄は、申請者において記入しないこと。
- 「参考事項」の欄は、溶接効率を高くとった場合の条件を記入すること。
- 「安全弁又はこれに代わる安全装置」の欄は、名称並び構造及び機能の概要を記入すること。

③鉄筋挿入工削孔機

鉄筋挿入工削孔機の保有について、以下の書類を提出すること。

1. 提出書類

- A. 保有機械明細表（法様式 1－③）
- B. 法様式 1－③の添付書類
- C. 機械写真（法様式 2－③）
- D. 提出資料事前チェックリスト（法様式 3－③）

2. 記入方法

A. 保有機械明細表（法様式 3－③）について

鉄筋挿入工削孔機の自社保有機械について、必要事項を記入すること。

ここでの鉄筋挿入工削孔機は、鉄筋挿入工（アンカー工）用を想定しており、いわゆる削岩機（ハンドハンマ、ハンマドリル等）は対象外。（想定機械：アンカー削孔機 ドリフタ（空気式 150kg）同等程度の機械）

※入札参加資格としての「機械保有」として 2.（1）④グラウンドアンカー削孔機を鉄筋挿入工削孔機として重複申請することを認める。その場合は、法様式 1－③のみ提出し、添付書類欄に「重複申請」と記入すること。また、保有台数はグラウンドアンカー削孔機での計上とする。

なお、複数を自社保有し申請する場合は 5 台を上限とする。

※リース機械について

- ・他社から借りている機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものに限り自社保有とみなす。
- ・他社へ貸し出している機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものは自社保有とみなさない。

B. 法様式 1－③の添付書類

機械を保有していることを証明する書類として、以下の書類を添付すること。

なお、様式の「添付書類」欄には、添付する書類を全て記入すること。

法様式 1－③の添付書類 一覧

添付書類	内 容
(1) 固定資産台帳の写し※ 1	「固定資産台帳」とは以下の書類とする。 ○申請日と同年度の、市町村役場が交付する資産証明で以下ア)、イ)、ウ)全て（サンプル参照） ア)償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）の該当機械が記載されているページの写し イ) 償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）で、償却の課税評価額の合計額が記載されているページの写し（明細書で合計額が記載されているページが無い場合は、明細書全ページを提出し最終ページ末尾に合計額を記載すること） ウ)名寄帳兼課税台帳等で「償却」の課税評価額の合計額が記載されているページの写し ※該当機械の記載欄を太枠で囲い、申請する機械との関連が分かるように機械名と「保有機械明細表（法様式 1－③）」記載の整理番号を記載し明示すること。（サンプル参照） ※「該当機械の資産の名称」、「償却資産の課税評価額の合計額」は表示すること。その他の情報については黒塗しても構わない。（サンプル参照）
(2) 貸借契約書の写し	リースによる自社保有の場合。
(3) 貸出元の固定資産台帳の写し※ 1	(2) の場合。 「(1) 固定資産台帳の写し」同様に貸出元の書類を提出すること。 ※オペレーティング・リース契約及び所有権移転外ファイナンス・リース契約が該当。所有権移転ファイナンス・リース契約は借主側の申告となるため、上記 (1) に該当する。

※ 1

①償却資産の賦課期日（令和 8 年 1 月 1 日）より後に新規購入したもの

②取得価格が「20 万円未満」にため税務会計上 3 年間で一括償却したもの

により固定資産台帳に償却資産としての記載がない場合は、売買契約書の写しを提出すること。

C. 機械写真（法様式 2－③）

保有機械明細表（法様式 1－③）に記入した機械について、以下のとおり作成すること。

1. 法様式 1－③に記入した「機械名」、「製造番号」を記入すること。
2. 「機械の撮影日（入札参加資格申請期間内の日付であること）」、「機械の撮影場所」、「機械の保管場所」、「機械の保管場所の所在地」を記入すること。
3. 機械の写真について
写真の撮影方法は以下のとおり。
別添「サンプル写真」を参考のうえ作成すること。

＜写真の撮影方法＞

①全景写真	機械の全体が分かるもので、銘板、製造番号等が含まれているもの（撮影日の新聞の第1面を入れて撮影）。
②部分写真	①全景写真及び③アップ写真を関連づける部分写真（①で撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度が必要）。
③アップ写真	銘板、製造番号等の表示内容が分かるアップ写真。 ※銘板等の表示内容が分かる鮮明な写真を提出すること。

※撮影の留意点

①全景写真、②部分写真、③アップ写真は、同一機械の写真であることが判別できるように、全て同一方向から撮影すること。①及び②は撮影日の新聞の第1面を入れて撮影し、②は撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度とすること。

4. 用紙1枚で不足する場合は、続けて2枚目に記入しページ毎に番号（No. ）を記入すること。

5. 機械写真（法様式2－③）については、上記記入内容を満たしていれば任意様式での提出も可とする。

D. チェックリスト（法様式3－③）

記載誤り、書類の提出漏れ等がないか必ずチェックし、法様式3－③についても提出すること。

保有機械明細表

機械名	規格	自社 or リース	メーカー	型式	製造番号	添付書類
【記載例】 鉄筋挿入工削孔機	空気式150kg	自社	〇〇〇〇	〇〇－〇〇	〇〇〇〇	・固定資産台帳(写し)

機 械 写 真

機械名	
製造番号	
機械の撮影日	
機械の撮影場所	
機械保管場所	
機械保管場所の所在地	

①全景写真

(機械の全体が分かるもので、銘板、
製造番号等が含まれているもの。)
※撮影日の新聞の第1面を入れて撮影

②部分写真

(①全景写真と③アップ写真を
関連づける部分写真。)
※①で撮影した新聞が判読できる
大きさ、解像度が必要

③アップ写真

(銘板、製造番号等の
表示内容が分かるアップ写真)

(No.)

機 械 写 真

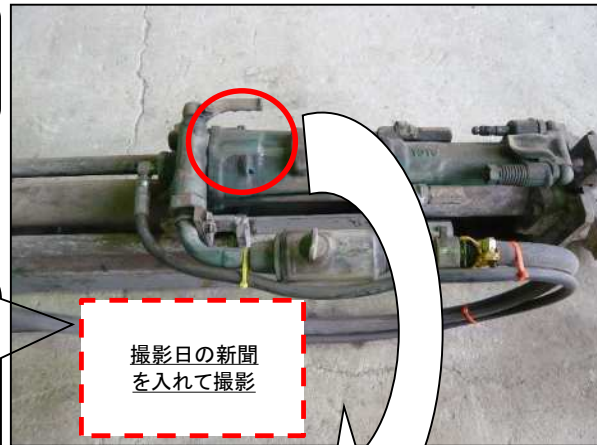
機械名	鉄筋挿入工削孔機
製造番号	〇〇〇〇
機械の撮影日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
機械の撮影場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地

入札参加資格申請期
間内の日付であるこ
と

製造番号等が含
まれている全景写



全景写真とアップ
写真を関連づける
部分写真



新聞の撮影面の例



撮影日の新聞
を入れて撮影

製造番号等の表
示内容が分かる
アップ写真



提出資料事前チェックリスト

資料	チェック事項	チェック欄
法様式1-③ (保有機械明細表)	・記載事項の記入漏れはありませんか？ ・「添付書類」欄に全ての添付書類名を記入しましたか？ ・リースによる自社保有の場合、リース契約期間は1年7ヶ月以上のものですか？	☐ ☐ ☐
様式1-③添付書類	・固定資産台帳の写しにおいて、以下4点の書類の写し全てを添付しましたか？ ・償却資産の明細書類の該当機械が記載されているページ ・償却資産の明細書類の償却の課税評価額の合計額が記載されているページ ※合計欄がない場合は全ページ必要 ・名寄兼課税台帳等で償却の評価額の合計額が記載されている書類 ・固定資産台帳の写しの年度に誤りはありませんか？ ・固定資産台帳の写しにおいて、該当機械の箇所を太枠で囲うなど該当機械が分かるように明示されていますか？ ・リースの場合、リース契約書の写しは添付しましたか？ ・リースの場合、貸し出し元の固定資産台帳等の写しは添付しましたか？ ・償却資産の賦課期日(1月1日)より後に新規購入し、固定資産台帳に記載のない場合、売買契約書の写しを添付しましたか？ ・自社製作機械の場合において、施工状況写真を添付しましたか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
法様式2-③ (機械写真)	・法様式1-③で記入した「機械名」、「製造番号」と一致していますか？ ・写真は全景・部分・アップ写真全てありますか？ ・全景・部分・アップ写真は全て同一方向から撮影しましたか？ ・全景写真の場合、機械の全景写真中に銘板・製造番号等が写っていますか？ ・アップ写真の場合、銘板、製造番号等の表示内容が確認できますか？ ・全景・部分写真に撮影日の新聞を入れて撮影しましたか？ ・撮影日は入札参加資格申請期間内の日付ですか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

④グラウンドアンカー削孔機

グラウンドアンカー削孔機の保有について、以下の書類を提出すること。

1. 提出書類

- A. 保有機械明細表（法様式 1－④）
- B. 法様式 1－④の添付書類
- C. 機械写真（法様式 2－④）
- D. 提出資料事前チェックリスト（法様式 3－④）

2. 記入方法

A. 保有機械明細表（法様式 1－④）について

グラウンドアンカー削孔機の自社保有機械について、必要事項を記入すること。

グラウンドアンカー削孔機は、グラウンド（アース）アンカー削孔機を想定しており、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン同等程度の機械。（想定機械：スキッド型（55kW）モーター式、クローラー型（81kW）エンジン式 等）

なお、複数を自社保有し申請する場合は 5 台を上限とする。

※リース機械について

- ・他社から借りている機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものに限り自社保有とみなす。
- ・他社へ貸し出している機械は、その契約期間が 1 年 7 ヶ月以上のものは自社保有とみなさない。

B. 法様式 1－④の添付書類

機械を保有していることを証明する書類として、以下の書類を添付すること。

なお、様式の「添付書類」欄には、添付する書類を全て記入すること。

法様式 1－④の添付書類 一覧

添付書類	内 容
(1) 固定資産台帳の写し※ 1	「固定資産台帳」とは以下の書類とする。 ○申請日と同年度の、市町村役場が交付する資産証明で以下ア)、イ)、ウ)全て（サンプル参照） ア)償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）の該当機械が記載されているページの写し イ) 償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）で、償却の課税評価額の合計額が記載されているページの写し（明細書で合計額が記載されているページが無い場合は、明細書全ページを提出し最終ページ末尾に合計額を記載すること） ウ)名寄帳兼課税台帳等で「償却」の課税評価額の合計額が記載されているページの写し ※該当機械の記載欄を太枠で囲い、申請する機械との関連が分かるように機械名と「保有機械明細表（法様式 1－④）」記載の整理番号を記載し明示すること。（サンプル参照） ※「該当機械の資産の名称」、「償却資産の課税評価額の合計額」は表示して下さい。その他の情報については黒塗しても構いません。（サンプル参照）
(2) 貸借契約書の写し	リースによる自社保有の場合。
(3) 貸出元の固定資産台帳の写し※ 1	(2) の場合。 「(1) 固定資産台帳の写し」同様に貸出元の書類を提出すること。 ※オペレーティング・リース契約及び所有権移転外ファイナンス・リース契約が該当する。所有権移転ファイナンス・リース契約は借主側の申告となるため、上記 (1) に該当する。

※ 1

①償却資産の賦課期日（令和 8 年 1 月 1 日）より後に新規購入したもの

②取得価格が「20 万円未満」にため税務会計上 3 年間で一括償却したもの

により固定資産台帳に償却資産としての記載がない場合は、売買契約書の写しを提出すること。

C. 機械写真（法様式 2－④）

保有機械明細表（法様式 1－④）に記入した機械について、以下のとおり作成すること。

1. 法様式 1－④に記入した「機械名」、「製造番号」を記入すること。
2. 「機械の撮影日（入札参加資格申請期間内の日付であること）」、「機械の撮影場所」、「機械の保管場所」、「機械の保管場所の所在地」を記入すること。
3. 機械の写真について
写真の撮影方法は以下のとおり。
別添「サンプル写真」を参考のうえ作成すること。

<写真の撮影方法>

①全景写真	機械の全体が分かるもので、銘板、製造番号等が含まれているもの（撮影日の新聞の第1面を入れて撮影）。
②部分写真	①全景写真及び③アップ写真を関連づける部分写真（①で撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度が必要）。
③アップ写真	銘板、製造番号等の表示内容が分かるアップ写真。 ※銘板等の表示内容が分かる鮮明な写真を提出すること。

※撮影の留意点

①全景写真、②部分写真、③アップ写真は、同一機械の写真であることが判別できるように、全て同一方向から撮影すること。①及び②は撮影日の新聞の第1面を入れて撮影し、②は撮影した新聞の西暦又は和暦、日付が判読できる大きさ・解像度とすること。

4. 用紙1枚で不足する場合は、続けて2枚目に記入しページ毎に番号（No. ）を記入すること。

5. 機械写真（法様式2-④）については、上記記入内容を満たしていれば任意様式での提出も可とする。

D. チェックリスト（法様式3-④）

記載誤り、書類の提出漏れ等がないか必ずチェックし、法様式3-③についても提出すること。

保有機械明細表

機械名	規格	自社 or リース	メーカー	型式	製造番号	添付書類
【記載例】 アンカー削孔機	ロータリーパー カッション式・ス キッド型33kW	自社	〇〇〇〇	〇〇-〇〇	〇〇〇〇	・固定資産台帳(写し)

機 械 写 真

機械名	
製造番号	
機械の撮影日	
機械の撮影場所	
機械保管場所	
機械保管場所の所在地	

①全景写真

(機械の全体が分かるもので、銘板、
製造番号等が含まれているもの。)
※撮影日の新聞の第1面を入れて撮影

②部分写真

(①全景写真と③アップ写真を
関連づける部分写真。)
※①で撮影した新聞が判読できる
大きさ、解像度が必要

③アップ写真

(銘板、製造番号等の
表示内容が分かるアップ写真)

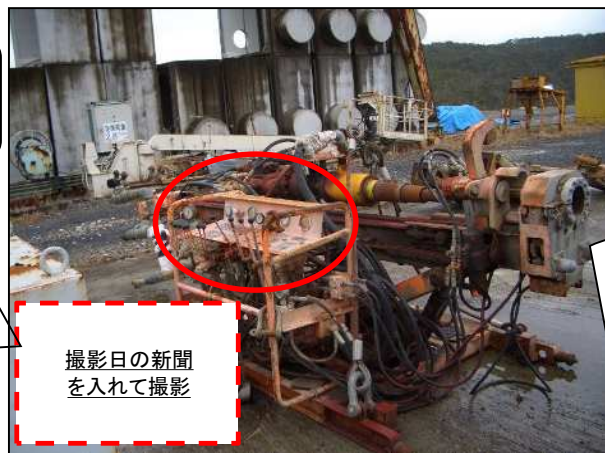
(No.)

機 械 写 真

機械名	グラウンドアンカー削孔機
製造番号	〇〇〇〇
機械の撮影日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
機械の撮影場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所	〇〇会社倉庫
機械保管場所の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地

入札参加資格申請期間内の日付であること

製造番号等が含まれている全景



新聞の撮影面の例



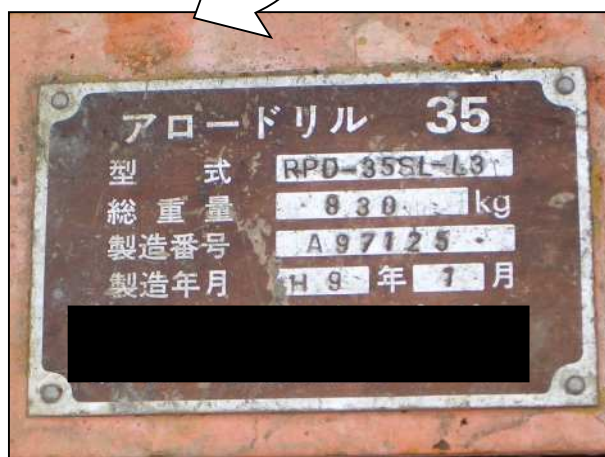
撮影日の新聞を入れて撮影

全景写真とアップ写真を関連づける部分写真



撮影日の新聞を入れて撮影

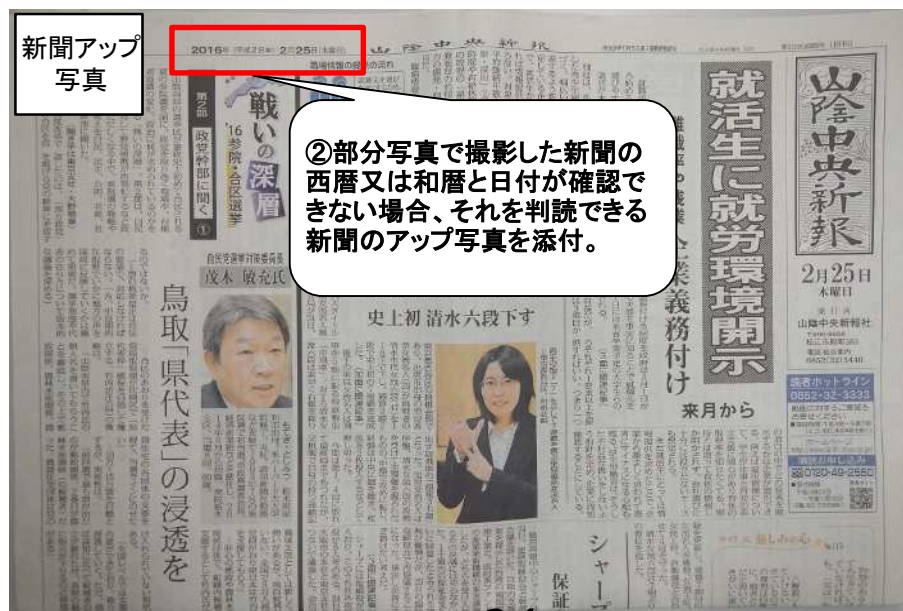
製造番号等の表示内容が分かるアップ写真



提出資料事前チェックリスト

資料	チェック事項	チェック欄
法様式1-④ (保有機械明細表)	・記載事項の記入漏れはありませんか？ ・「添付書類」欄に全ての添付書類名を記入しましたか？ ・リースによる自社保有の場合、リース契約期間は1年7ヶ月以上のものですか？	☐ ☐ ☐
法様式1-④添付書類	・固定資産台帳等の写しにおいて、以下の書類の写し全てを添付しましたか？ ・償却資産の明細書類の該当機械が記載されているページ ・償却資産の明細書類の償却の課税評価額の合計額が記載されているページ ※合計欄がない場合は全ページ必要 ・名寄兼課税台帳等で償却の評価額の合計額が記載されている書類 ・固定資産台帳の写しの年度に誤りはありませんか？ ・固定資産台帳等の写しにおいて、該当機械の箇所を太枠で囲うなど該当機械が分かるように明示されていますか？ ・リースの場合、リース契約書の写しは添付しましたか？ ・リースの場合、貸し出し元の固定資産台帳等の写しは添付しましたか？ ・償却資産の賦課期日(1月1日)より後に新規購入し、固定資産台帳に記載のない場合、売買契約書の写しを添付しましたか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
法様式2-④ (機械写真)	・法様式1-④で記入した「機械名」、「製造番号」と一致していますか？ ・写真は全景・部分・アップ写真全てありますか？ ・全景・部分・アップ写真は全て同一方向から撮影しましたか？ ・全景写真の場合、機械の全景写真中に銘板・製造番号等が写っていますか？ ・アップ写真の場合、銘板、製造番号等の表示内容が確認できますか？ ・全景・部分写真に撮影日の新聞を入れて撮影しましたか？ ・撮影日は入札参加資格申請期間内の日付ですか？	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

〔参考〕機械写真に新聞を入れるイメージ



銘板が含まれて
いる全景写真



銘板

撮影日の新聞
を入れて撮影

全景写真とアップ
写真を関連づける
部分写真



銘板

撮影日の新聞
を入れて撮影

銘板の表示内容
が分かるアップ
写真



7) 償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）の該当機械が記載されているページ

令和 年度 償却資産の種類別明細書

[illegible]

固定資産台帳 サンプル

イ)償却資産の明細書類（償却資産種類別明細書等）で償却の課税評価額の合計額が記載されているページ

令和 年度 償却資産種類別明細書

[illegible]

固定資産台帳 サンプル

地積・求積積 (㎡)		評価額
宅地		
正		
畑		
山林		
原野		
進種地		
市街化地区		
その他		
小計合計		
家屋合計		

課税標準額		固定資産税	都市計画税
土地			
家屋			
償却			
合計		10,000,000	
一般算出税額			
新築増減税額			
差引税額			
区分所有(土地)			
土地減免税額			
家屋減免税額			
償却減免税額			
所有減免税額			
合計			

税額	
年税額	
第1期	
第2期	
第3期	
第4期	
納付	

Year	Actual Percentage (%)	Projected Percentage (%)
1950	7	-
1960	12	-
1970	15	-
1980	15	15
1990	-	16
2000	-	17
2010	-	17.5
2020	-	18
2030	-	18.5
2040	-	19
2050	-	18

更正年月日

法面工事保有機械確認資料提出一覧表

＜提出資料＞

①種子吹付機			③鉄筋挿入工削孔機		
提出	提出資料	様式	提出	提出資料	様式
	保有機械明細表	法様式 1-①		保有機械明細表	法様式 1-③
	法様式 1-①添付書類			法様式 1-③添付書類	
	固定資産台帳の写し			固定資産台帳の写し	
	賃借契約書の写し			賃借契約書の写し	
	貸出元の固定資産台帳の写し			貸出元の固定資産台帳の写し	
	機械写真	法様式 2-①		機械写真	法様式 2-③
	提出資料事前チェックリスト	法様式 3-①		提出資料事前チェックリスト	法様式 3-③

②モルタル・植生基材吹付機			④グラウンドアンカー削孔機		
提出	提出資料	様式	提出	提出資料	様式
	保有機械明細表	法様式 1-②		保有機械明細表	法様式 1-④
	法様式 1-②添付書類			法様式 1-④添付書類	
	固定資産台帳の写し			固定資産台帳の写し	
	賃借契約書の写し			賃借契約書の写し	
	貸出元の固定資産台帳の写し			貸出元の固定資産台帳の写し	
	定期自主検査記録の写し	法様式 1-②・点検		機械写真	法様式 2-④
	機械写真	法様式 2-②		提出資料事前チェックリスト	法様式 3-④
	提出資料事前チェックリスト	法様式 3-②			

(※上記資料のうち、提出するものについては提出欄に○印を記入すること。)